

News Release

デロイト トーマツ、Bリーグ所属クラブを経営面から ランキングした「Bリーグマネジメントカップ 2021」を発表

B1は「琉球ゴールデンキングス」が初優勝、B2は「仙台 89ERS」が3連覇

デロイト トーマツ グループ（東京都千代田区、CEO：永田高士 以下、デロイト トーマツ）でスポーツビジネスを展開するスポーツビジネスグループは、国内男子プロバスケットボールリーグである B リーグの B1 と B2 に所属する全クラブを対象に、ビジネスマネジメントの側面（経営面）からランキングした「B リーグマネジメントカップ 2021」を発表します。今回のランキングでは、B1 は琉球ゴールデンキングスが初優勝、B2 は仙台 89ERS が 3 連覇となりました。

デロイト トーマツはスポーツビジネスの一層の発展に向けて、事業や経営といった観点での関心と理解を広げることを目的に、「マネジメントカップ」を発表しています。クラブのマネジメントにおいて、いかに試合に勝つかという「フィールドマネジメント」（以下 FM）とともに重要なのが、いかにビジネスとして収益を上げ、また事業拡大をするかという「ビジネスマネジメント」（以下 BM）です。「B リーグ マネジメントカップ」は、B リーグから公表された B1 と B2 に所属する全クラブの財務情報などの公開情報をもとに、BM において重要なテーマである「マーケティング」「経営効率」「経営戦略」「財務状況」の 4 つの視点で計 11 の KPI を設けて分析し、それぞれの集計を基にランキングにしています。

調査結果の詳細については[レポート](#)をご確認ください。

4 回目となる今回の「B リーグマネジメントカップ」は、感染拡大防止のための入場制限（収容率 50% 以下、上限 5,000 人）や試合中止など、シーズンを通じてコロナ禍の影響を多く受けた中でのリーグ戦運営を反映した結果となりました。興行ビジネスを柱として経営している B クラブにとって致命的といえるこの状況下でも、B1 部門において初の総合 1 位となった琉球ゴールデンキングスや、B2 部門において 3 連覇を果たした仙台 89ERS は、それぞれスポンサー収入の増額等で昨シーズンから売上規模を増加させることに成功しています。琉球ゴールデンキングスは話題の沖縄アリーナが稼働を開始したことでコロナ禍の逆風を打ち消す成果を挙げ、仙台 89ERS はホームゲーム比率の引き下げというレギュレーションの変更を巧みに活かしたマーケティングエリアの拡大により成果を上げています。厳しい経営環境の中でも活路を見出す両クラブの経営手法は、他のクラブにとっても大いに参考になるものです。

「B リーグ マネジメントカップ 2021」ランキング上位結果

■B1 では、各分野で着実な成長を見せた琉球ゴールデンキングスが初優勝

順位	クラブ	BMP 総計	マーケティング	経営効率	経営戦略	財務状況
1 位	琉球ゴールデンキングス	178	55	★29	48	46
2 位	宇都宮ブレックス	164	★56	27	46	35
3 位	秋田ノーザンハピネッツ	150	38	27	44	41
4 位	大阪エヴェッサ	149	34	14	★51	★50
5 位	千葉ジェッツふなばし	147	55	17	30	45

※数字はポイント数、★はディビジョン最高値。BMP はビジネスマネジメントポイントの略。

琉球ゴールデンキングスはマーケティング分野と経営戦略分野、財務状況分野で2位（マーケティング分野と経営戦略分野は2位タイ）、経営効率分野で1位タイと全分野で好成績を収め、総合で2位の宇都宮に14ポイントもの大差をつけて初優勝を飾りました。各分野で安定して上位の成績を収め、中でも入場者数制限で各クラブが苦戦を強いられた入場料収入では前期比+118百万円の伸びを見せ、他クラブを圧倒しました。これは期中に完成した沖縄アリーナの影響が大きく、沖縄アリーナで開催したホームゲームでは平均集客率が50%に迫り、制限下における上限に迫る集客を実現しています。

■B2では、仙台が安定した強さを見せて3連覇

順位	クラブ	BMP 総計	マーケティング	経営効率	経営戦略	財務状況
1位	仙台 89ERS	130	★43	21	★42	24
2位	熊本ヴォルターズ	124	40	23	36	25
3位	バンビシャス奈良	115	34	★28	38	15
4位	群馬クレインサンダーズ	109	37	16	31	25
5位	茨城ロボッツ	105	31	17	28	29

※数字はポイント数、★はディビジョン最高値。BMPはビジネスマネジメントポイントの略。

仙台 89ERS はマーケティング分野と経営戦略分野でともに1位、経営効率分野で3位タイ、財務状況分野で5位となり、総合で2位の熊本に6ポイント差をつけて堂々の3連覇となりました。2021年は東日本大震災から10年の節目であり、感謝の気持ちを伝えるべく、また宮城県内を盛り上げるために、これまで試合を行っていなかった地域でも試合を行う等、様々な地区に出向き精力的に活動してきました。コロナ禍によるレギュレーションの緩和をうまく生かし、県内のファン・ブースターとの繋がりを強化すると同時に、新たな支援者の掘り起こしにも繋がっています。

■ランキングの算出方法

マーケティング、経営効率、経営戦略、財務状況の4つの視点に対して、デロイト トーマツが独自の KPI（Key Performance Indicators：重要業績評価指標）を設定し項目別にランク付けを行い、そのランキングに応じたビジネスマネジメントポイントを付与していきます。なお、BMポイントが同率の場合、マーケティングの順位が上のクラブが上位クラブとなります。（以下、経営効率、経営戦略、財務状況の順に同様の判定）。各 KPI は以下の通りです。

- ・マーケティング：平均入場者数、アリーナ集客率、客単価
- ・経営効率：1勝あたりチーム人件費、1勝あたり入場料収入
- ・経営戦略：売上高・チーム人件費率、SNS フォロワー数、グッズ関連利益額
- ・財務状況：売上高、売上高成長率（B1のみ）、自己資本比率

デロイト トーマツのスポーツビジネスグループ（SBG）について

クラブやリーグ、協会等競技団体の経営基盤の強化から観客・ファンの獲得、収益を最大化する商品サービスの開発、スタジアムの建設・運営管理など、スポーツビジネスを成功させるために解決すべき課題は数多く存在します。デロイト トーマツ グループでは、財務会計、戦略、マーケティング・業務改革など、多様な分野のプロフェッショナルを擁し、スポーツビジネス領域におけるグローバルでの豊富な知見を活かしつつ、あらゆる面から事業支援を行う体制を整えています。

www.deloitte.com/jp/sports-business

デロイト トーマツ グループは、日本最大規模のプロフェッショナルサービスファームとして有する圧倒的な専門性・総合力と、データ・アナリティクスやデジタル・テクノロジーに関する最先端の実践的知見を融合することで、経済社会や産業の将来像を指し示し、その実現に必要なとされる経営変革と社会イノベーションを加速させる「経済社会の変革のカタリスト」となることを目指しています。SBG の活動では、日本におけるスポーツビジネス領域での産業基盤の強化や、スポーツを核とした地域活性化モデルの構築などスポーツをハブとした取り組みを推進しています。

<報道機関の方からの問い合わせ先>

デロイト トーマツ グループ 広報担当 真木、高橋

Tel: 03-6213-3210 Email: press-release@tohmatsumatsu.co.jp

デロイト トーマツ グループは、日本におけるデロイト アジア パシフィック リミテッドおよびデロイトネットワークのメンバーであるデロイト トーマツ合同会社ならびにそのグループ法人（有限責任監査法人トーマツ、デロイト トーマツ コンサルティング合同会社、デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社、デロイト トーマツ 税理士法人、DT 弁護士法人およびデロイト トーマツ コーポレート ソリューション合同会社を含む）の総称です。デロイト トーマツ グループは、日本で最大級のビジネスプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従い、監査・保証業務、リスクアドバイザー、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー、税務、法務等を提供しています。また、国内約 30 都市以上に 1 万名を超える専門家を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイト トーマツ グループ Web サイト (www.deloitte.com/jp) をご覧ください。

Deloitte (デロイト) とは、デロイト トウシュ トーマツ リミテッド (“DTTL”)、そのグローバルネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびそれらの関係法人（総称して“デロイト ネットワーク”) のひとつまたは複数指します。DTTL (または“Deloitte Global”) ならびに各メンバーファームおよび関係法人はそれぞれ法的に独立した別個の組織体であり、第三者に関して相互に義務を課しまたは拘束させることはありません。DTTL および DTTL の各メンバーファームならびに関係法人は、自らの作および不作為についてのみ責任を負い、互いに他のファームまたは関係法人の作および不作為について責任を負うものではありません。DTTL はクライアントへのサービス提供を行いません。詳細は www.deloitte.com/jp/about をご覧ください。

デロイト アジア パシフィック リミテッドは DTTL のメンバーファームであり、保証有限責任会社です。デロイト アジア パシフィック リミテッドのメンバーおよびそれらの関係法人は、それぞれ法的に独立した別個の組織体であり、アジア パシフィックにおける 100 を超える都市（オークランド、バンコク、北京、ハノイ、香港、ジャカルタ、クアラルンプール、マニラ、メルボルン、大阪、ソウル、上海、シンガポール、シドニー、台北、東京を含む）にてサービスを提供しています。

Deloitte (デロイト) は、監査・保証業務、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー、リスクアドバイザー、税務およびこれらに関連するプロフェッショナルサービスの分野で世界最大級の規模を有し、150 を超える国・地域にわたるメンバーファームや関係法人のグローバルネットワーク（総称して“デロイト ネットワーク”) を通じ Fortune Global 500® の 8 割の企業に対してサービスを提供しています。“Making an impact that matters”を自らの使命とするデロイトの約 312,000 名の専門家については、(www.deloitte.com) をご覧ください。

Member of
Deloitte Touche Tohmatsu Limited